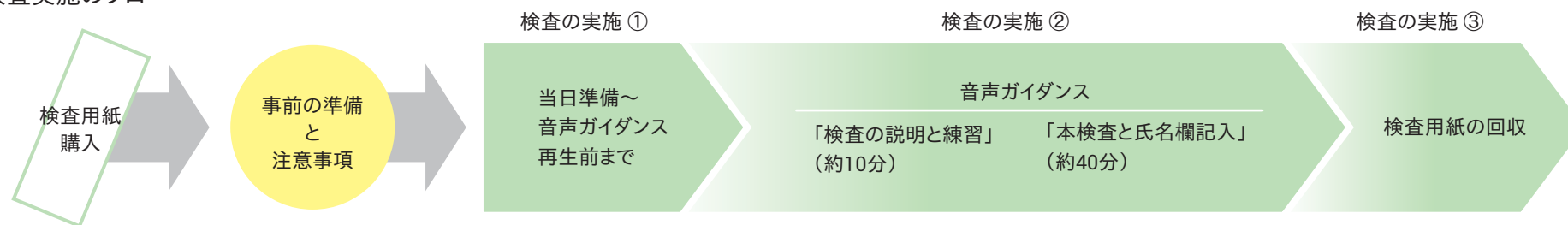


「検査実施の手引き」

はじめに

内田クレペリン検査は、心理検査です。ルール通りに正しく検査を行うことで、初めて正確な判定結果を得ることができます。受検者の不利益とならないよう、実施者は必ず当「検査実施の手引き」を確認の上、ガイドラインを遵守し、検査を実施してください。

■ 検査実施のフロー



- 検査を実施する環境： 明るく、騒音が少ない部屋。凸凹がなく、検査用紙を広げられる机（1人あたり横幅70cm以上）。
- 実施者： 正しく検査を行うために、事前に次の資料を必ず確認してください。本手引きに加え、「事前の準備（動画）」を参照。 <https://youtu.be/qNqmMBSbYLM>



事前の準備 と 注意事項

- 用意するもの：



検査用紙

用紙は受検者数よりも何枚か多めに準備する。（2枚使用する受検者がいるため）



筆記用具

鉛筆（HBあるいはB）を準備。受検者一人につき2～3本用意する。ボールペン、シャープペンは原則不可。消しゴムは使用しない。



音声ガイダンス

日精研ホームページで法人登録をしてダウンロード。（無料）

音声ガイダンスの再生機器

1. 実施前に必ず使用する機器で再生確認をする。
2. 再生機器のインターネット接続を解除する。（スマートフォンやタブレットは機内モードに設定）
3. 再生機器は、音声ガイダンスの再生のみの単独使用とする。（再生以外のソフトやアプリを立ち上げない）



<https://ukmember.jp/ukw/orderuk>



ストップウォッチあるいは秒針のある腕時計

60秒計（1周60秒）のストップウォッチ、または秒針のある腕時計。

- 検査時間：約1時間。音声ガイダンスは、「検査の説明と練習（約10分）」と「本検査と氏名欄記入（約40分）」の2部構成になっています。
- 受検条件：早朝、深夜、激しい運動の直後などの実施は避けること。

検査の実施 ①

当日の準備～音声ガイダンス再生前まで

- 受検者のコンディションを整えるため、受検者はトイレなどを済ませて説明開始の5分前には着席させる。
- 実施者は受検者に次のアナウンスする。
 - ・携帯電話、スマートフォンの電源を切ること。
 - ・鉛筆以外、机の上の余分なものはしまうこと。
- 検査用紙を裏にして配布する。全員が正しく着席し、落ち着いたところで音声ガイダンスをスタートする。

音声ガイダンスの再生・検査用紙の回収

検査の実施 ②～③

- 音声ガイダンスを再生してからの遅刻者は、あらためて受検させること。
- 音声ガイダンスの説明部分や練習を省略しないこと。本検査中は、音声ガイダンスを停止したり、中断しないこと。
- 本検査中に事故があった場合、状況をメモすること（受検者の氏名や、何分目にどういう事故があったのか等）。
- 再生を止めるように指示があったら、すぐに音声ガイダンスを停止し検査用紙を回収する。

※実施者は、音声トラブルに備え、ストップウォッチでの時間計測を推奨します。音声トラブルの際、以下の要領で号令をかけます。

- ・サキは「用意、始め」で検査をはじめ、1分おきに「はい、次」を14回、15回目は「はい、やめ」を言う。
- ・5分間の休憩をとる。
- ・アトは「用意、始め」で検査をはじめ、1分おきに「はい、次」を15回、16回目は10秒後に「はい、やめ」を言う。

注意事項

以下のように検査が正しく実施されない場合は、判定不能、または仮判定とさせていただきますので、予めご了承ください。

1. レンシュウ欄の実施がない
2. 検査の中断につながる筆記具のトラブル（芯が折れるなど）
3. 検査の中断、時間超過（不足）

【お問い合わせ】当検査に関するご質問は、弊社へお願いします。

発行元：株式会社 日本・精神技術研究所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-26 井関ビル 2 階

TEL 03-3234-2961 <https://www.nsgk.co.jp/>